

令和8年（2026）7月 入域観光客数概況（確定版）

96万3,900人
対前年（R7）同月比 +1万6,300人、+1.7%
～7月としては過去最高～

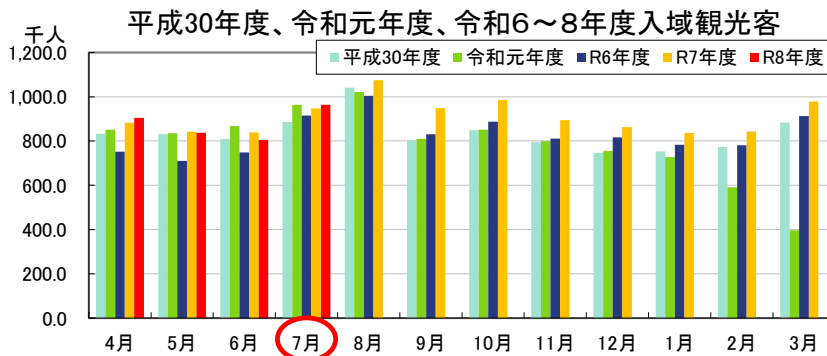
【更新履歴】①令和8年8月25日速報版公表
②令和8年10月26日確定版公表
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、10月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数（R7年度との比較）

区分	R8年度	R7年度	増減数	増減率	構成比
国内客	693,900 人	704,200 人	△ 10,300 人	△ 1.5%	72.0%
空路	691,500 人	701,900 人	△ 10,400 人	△ 1.5%	71.7%
海路	2,400 人	2,300 人	+ 100 人	+ 4.3%	0.2%
外国客	270,000 人	243,400 人	+ 26,600 人	+ 10.9%	28.0%
空路	197,100 人	177,600 人	+ 19,500 人	+ 11.0%	20.4%
海路	72,900 人	65,800 人	+ 7,100 人	+ 10.8%	7.6%
合計	963,900 人	947,600 人	+ 16,300 人	+ 1.7%	100.0%

※外国客には、海路における乗務員等19,200人を含む。



国内客 入域状況

7月は、旅行需要を見込んだ航空会社による増便・臨時便があった一方で、台風9号の接近に伴い航空便の欠航等があったことから、前年同月を下回った。
なお、関西方面からの観光客は過去最多を記録したものの、国内客総数においては7月として過去2番目となった。

国内客 地域別入域状況

区分	R8年度	R7年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	339,200 人	353,400 人	△ 14,200 人	△ 4.0%	48.9%
関西方面	152,600 人	147,400 人	+ 5,200 人	+ 3.5%	22.0%
福岡方面	84,200 人	84,400 人	△ 200 人	△ 0.2%	12.1%
名古屋	61,900 人	63,600 人	△ 1,700 人	△ 2.7%	8.9%
その他	56,000 人	55,400 人	+ 600 人	+ 1.1%	8.1%
合計	693,900 人	704,200 人	△ 10,300 人	△ 1.5%	100.0%

参考: 国内線経由入域外国人数

地域別	R8年度		R7年度		主要国・地域
	人数	シェア	人数	シェア	
北米	33,300	49%	28,000	50%	アメリカ合衆国、カナダ等
ヨーロッパ	19,100	28%	11,600	21%	イギリス、ドイツ、フランス、スイス、イタリア、スペイン、ベルギー、オランダ、ポーランド、オーストリア、チェコ、デンマーク、スウェーデン、ロシア等
アジア	9,400	14%	7,000	13%	中国、香港、台湾、韓国、ASEAN、インド等
オセアニア	2,200	3%	1,700	3%	オーストラリア、ニュージーランド等
中米・南米	800	1%	500	1%	ブラジル、メキシコ、アルゼンチン等
その他	3,800	6%	7,200	13%	
合計	68,600	100%	56,000	100%	

※航空会社ヒアリングにより推計値を算出(推計方法が異なるため、年度比較に留意)。
※推計値のため、国内客数に対する厳密な内数ではない。

外国客 入域状況

7月は、台風接近による影響があったものの、那覇－香港路線(7月11日～10月24日)の新規就航や那覇－台中路線(7月21日～)の運航再開等があったこと等から、前年同月を上回った。
なお、台湾・韓国からの観光客は過去最多を記録したものの、外国客総数としては過去4番目の記録となった。

トピック ▶【台湾】ジェットスター・ジャパンは那覇－高雄路線(12月6日～)を週3便で新規就航予定。同社による那覇空港発着の国際線は初めて。

外国客 国籍別入域状況

区分	R8年度	R7年度	増減数	増減率	構成比
台湾	148,500 人	116,300 人	+ 32,200 人	+27.7%	55.0%
韓国	52,800 人	42,100 人	+ 10,700 人	+25.4%	19.6%
中国本土	9,400 人	34,800 人	△ 25,400 人	△73.0%	3.5%
香港	25,100 人	18,100 人	+ 7,000 人	+38.7%	9.3%
アメリカ	3,100 人	3,200 人	△ 100 人	△3.1%	1.1%
タイ	1,500 人	1,900 人	△ 400 人	△21.1%	0.6%
シンガポール	1,100 人	1,200 人	△ 100 人	△8.3%	0.4%
その他	28,500 人	25,800 人	+ 2,700 人	+10.5%	10.6%
合計	270,000 人	243,400 人	+ 26,600 人	+10.9%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等19,200人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R8年度	R7年度	増減率	構成比	R8年度	R7年度	増減率	構成比
台湾	98,100 人	83,200 人	+17.9%	49.8%	50,400 人	33,100 人	+52.3%	69.1%
韓国	52,700 人	42,000 人	+25.5%	26.7%	100 人	100 人	+0.0%	0.1%
中国本土	8,900 人	22,900 人	△61.1%	4.5%	500 人	11,900 人	△95.8%	0.7%
香港	23,400 人	16,900 人	+38.5%	11.9%	1,700 人	1,200 人	+41.7%	2.3%
アメリカ	3,000 人	3,100 人	△3.2%	1.5%	100 人	100 人	0.0%	0.1%
タイ	1,400 人	1,800 人	△22.2%	0.7%	100 人	100 人	0.0%	0.1%
シンガポール	1,100 人	1,000 人	+10.0%	0.6%	0 人	200 人	皆減	0.0%
その他	8,500 人	6,700 人	+26.9%	4.3%	20,000 人	19,100 人	+4.7%	27.4%
合計	197,100 人	177,600 人	+11.0%	100.0%	72,900 人	65,800 人	+10.8%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等19,200人を含む。

